



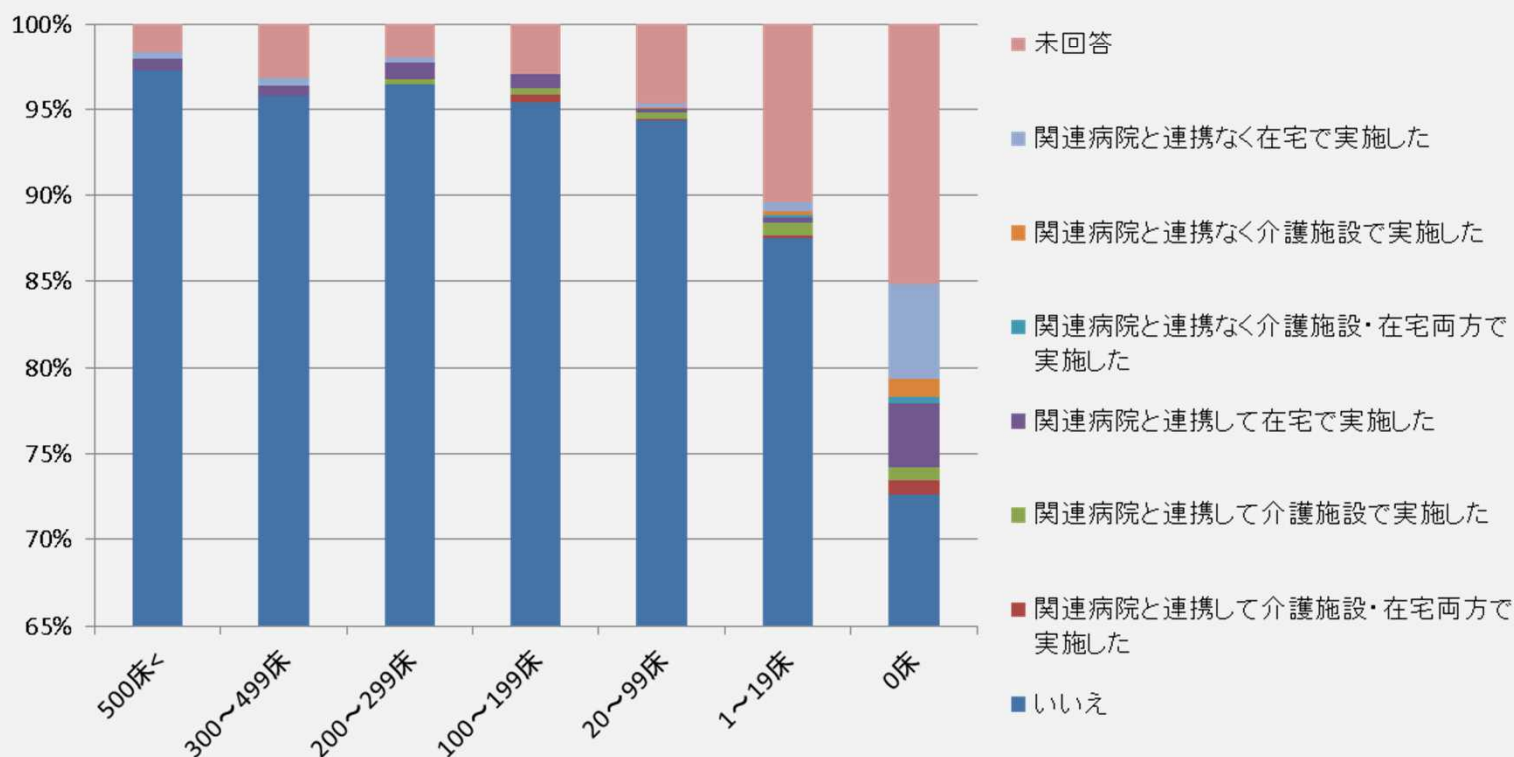
# 病院外の輸血

日本輸血・細胞治療学会 調査統計委員会  
青森県立中央病院 臨床検査・輸血部  
福島県立医科大学医学部 輸血・移植免疫学講座  
北澤淳一



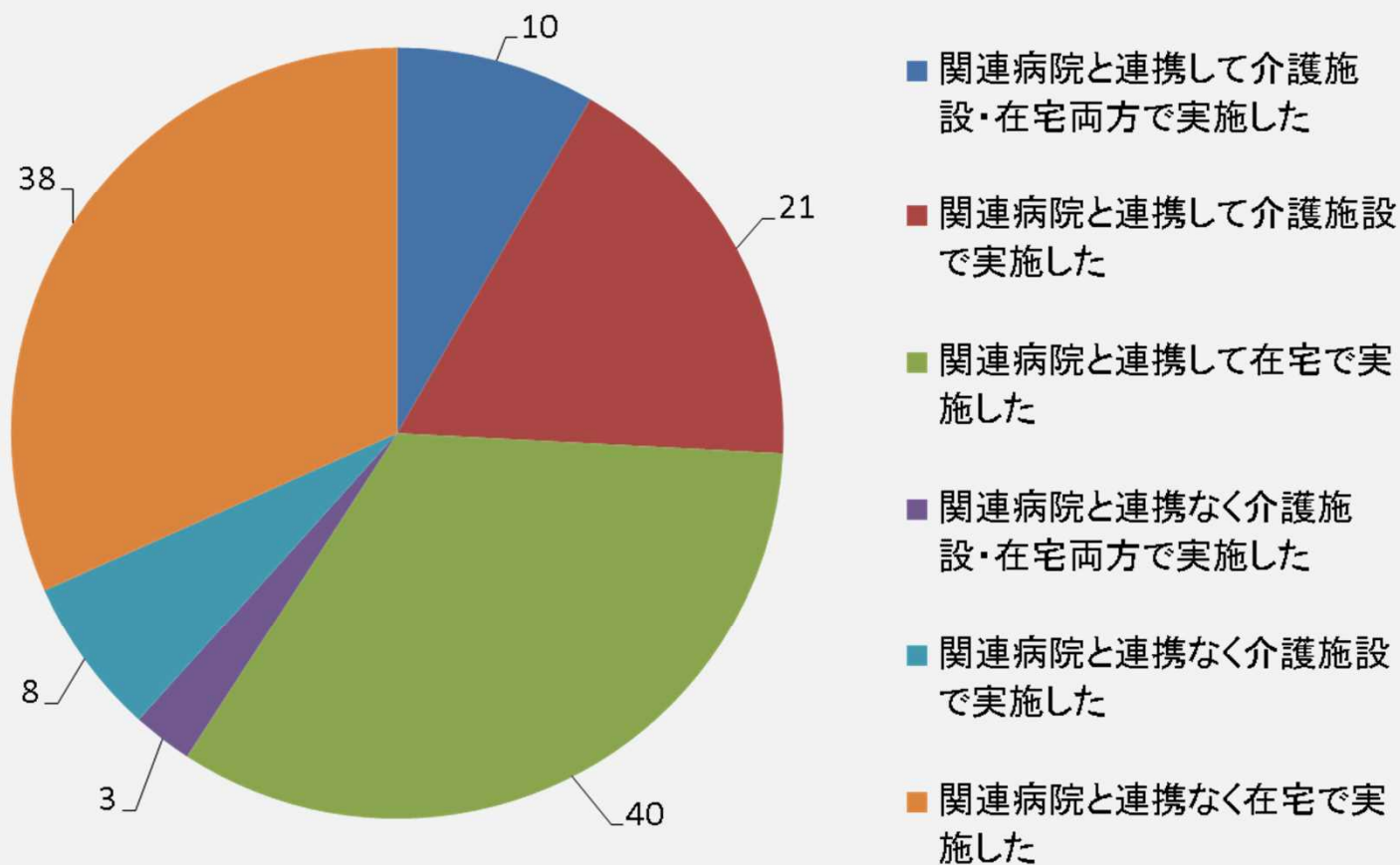
# 検討の条件設定

- Q1-152で、病院外の輸血を実施した と回答した施設の回答のみを抽出した。



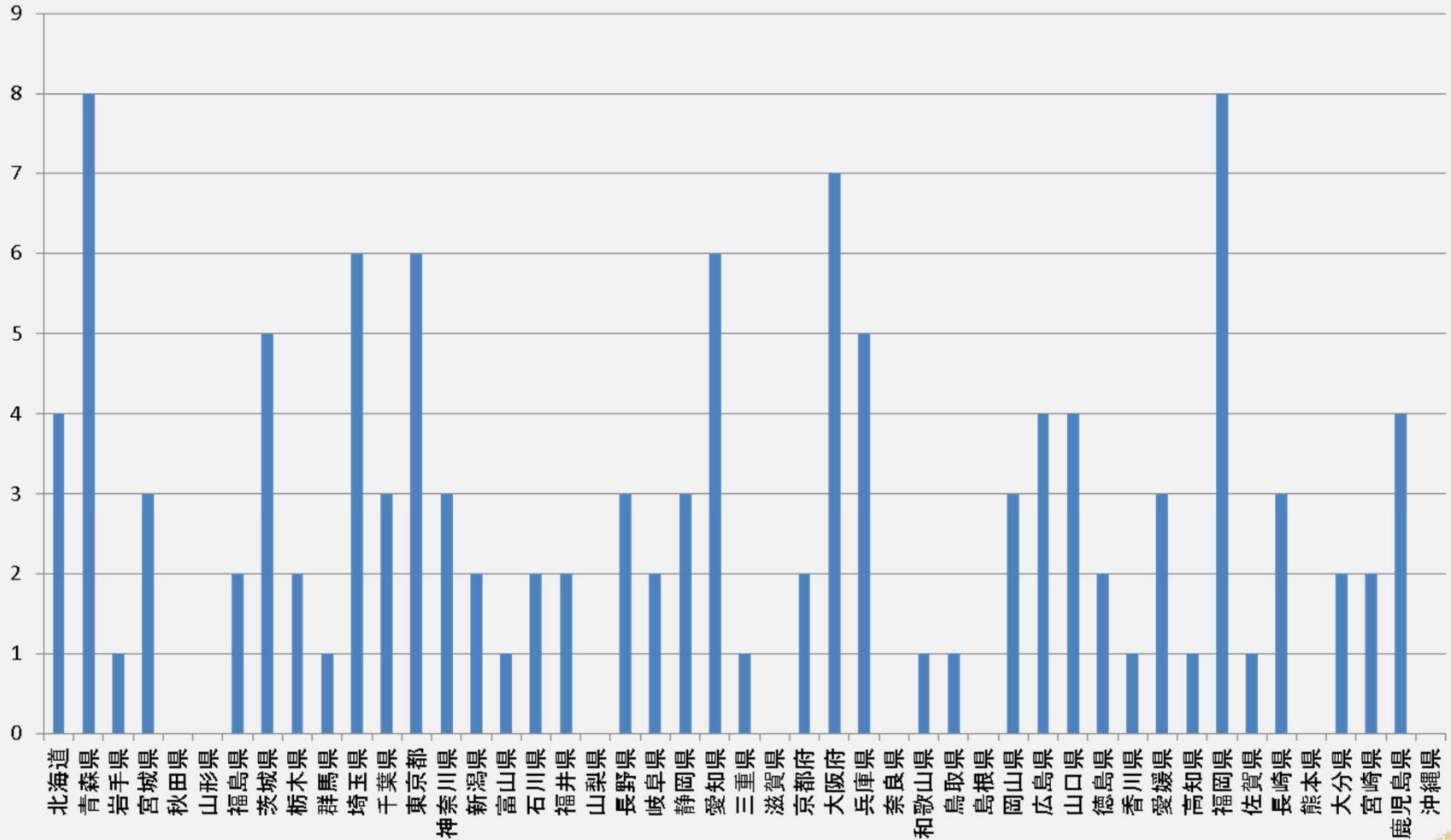
	500床<	300~499床	200~299床	100~199床	20~99床	1~19床	0床
回答施設	287	482	389	977	1383	683	415

# Q1-152 年間病院外で輸血を行ったか？

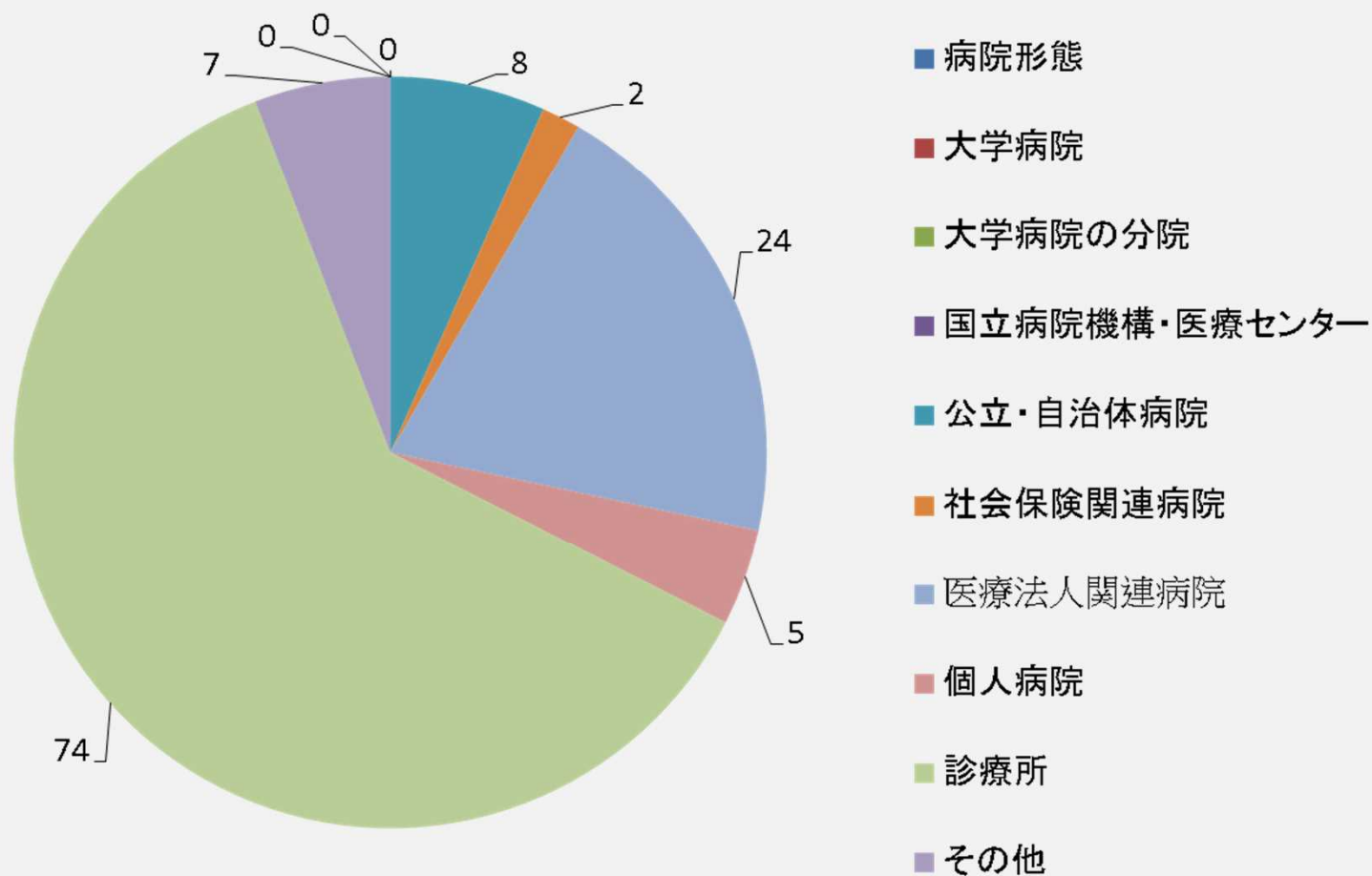


120施設中、在宅91施設・介護施設42施設(重複あり)

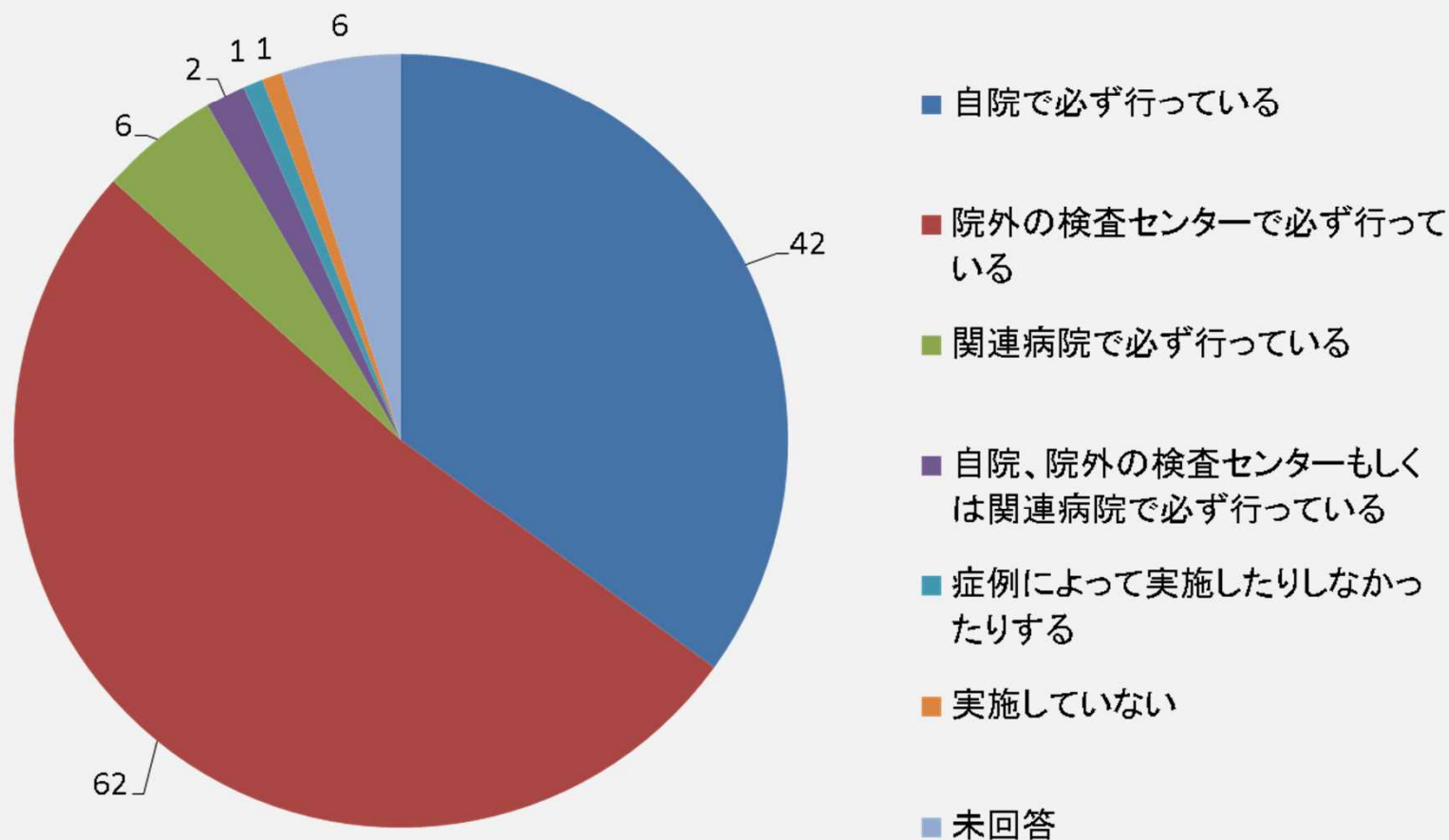
# 都道府県別病院外輸血有り回答施設数



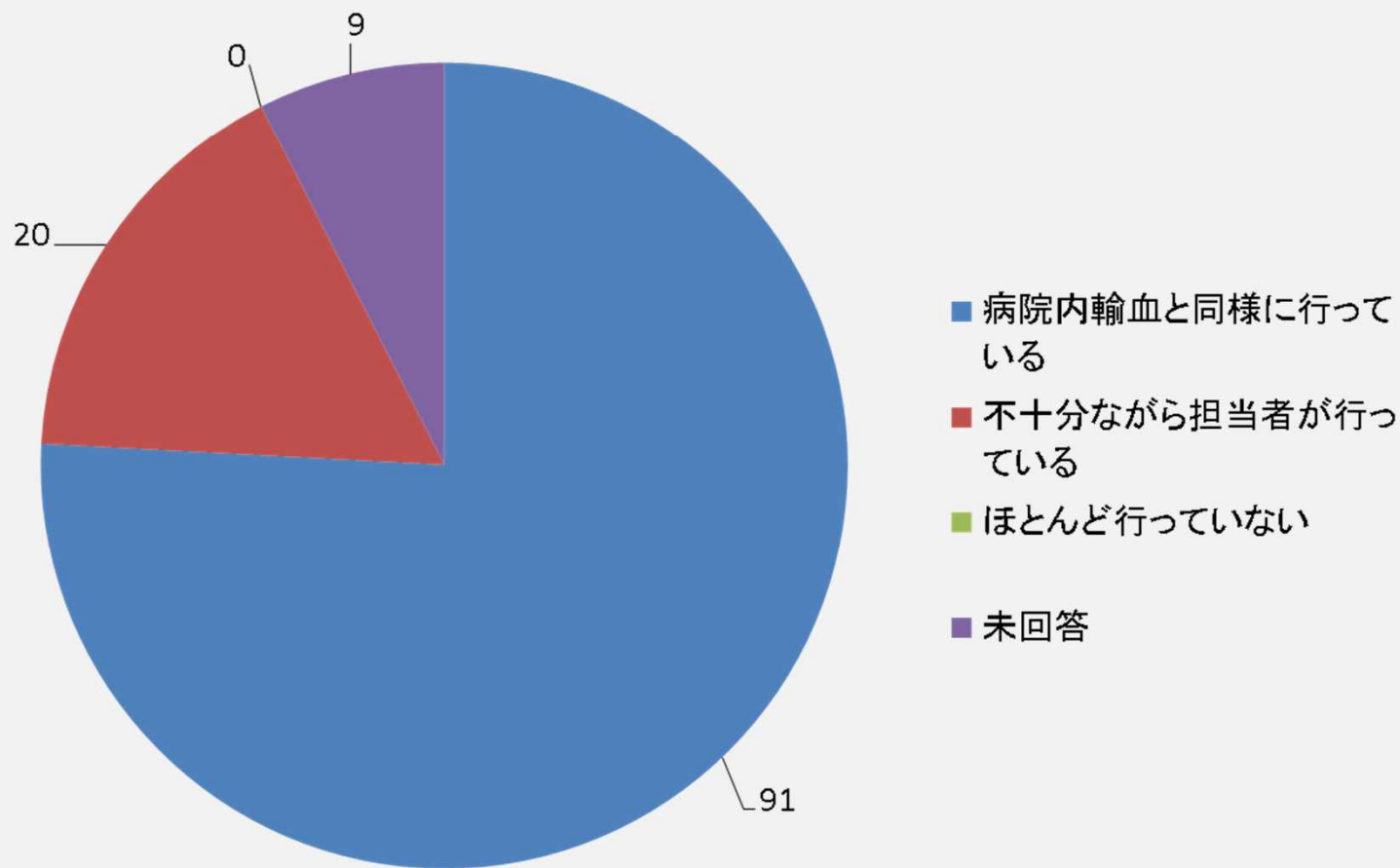
# 病院形態



# 病院外（介護施設・住宅）輸血を行う場合に 交差適合試験を実施しているか否か

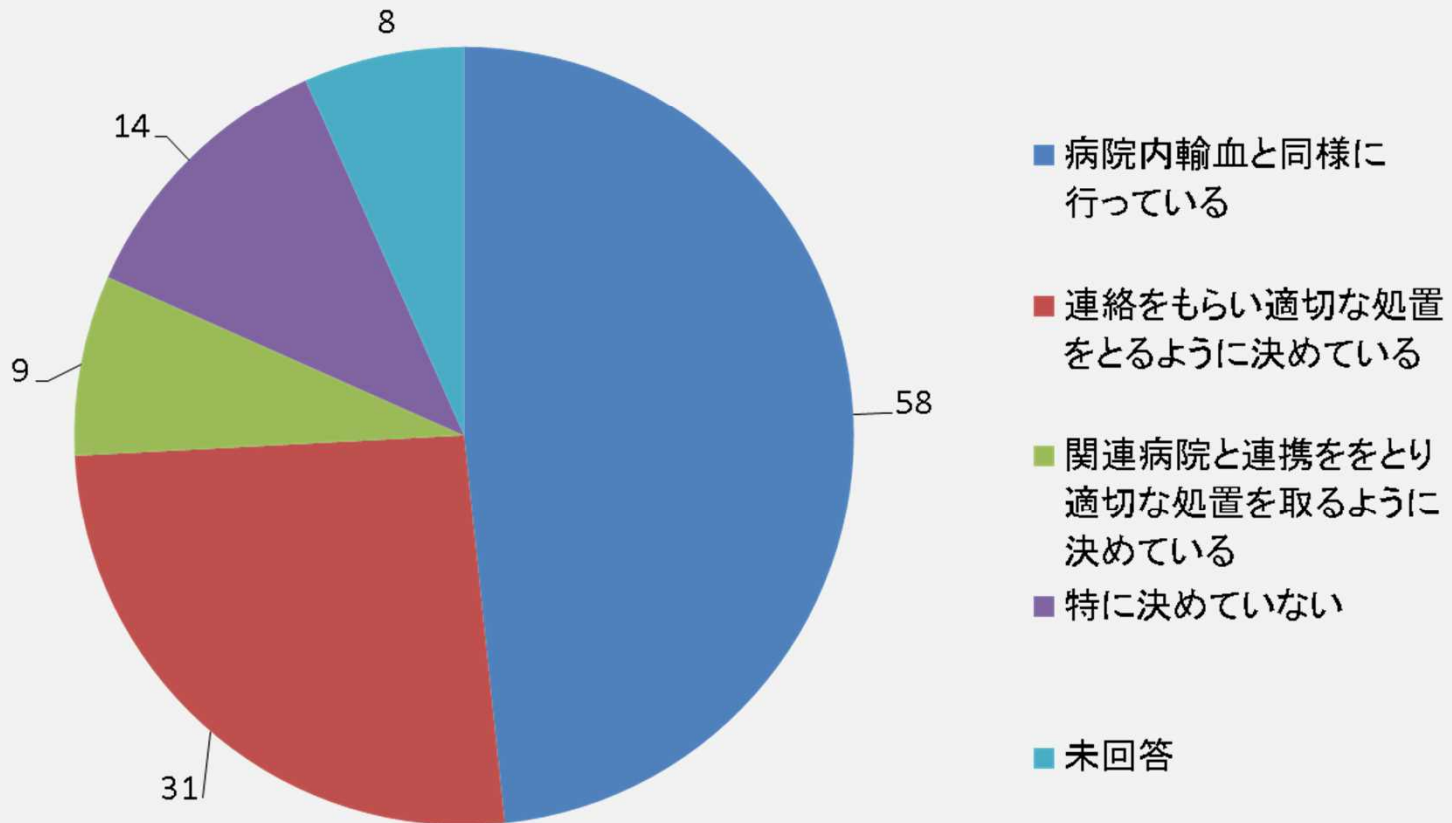


# 病院外（介護施設・住宅）輸血後の患者観察（5分後、15分後）は行っているか否か



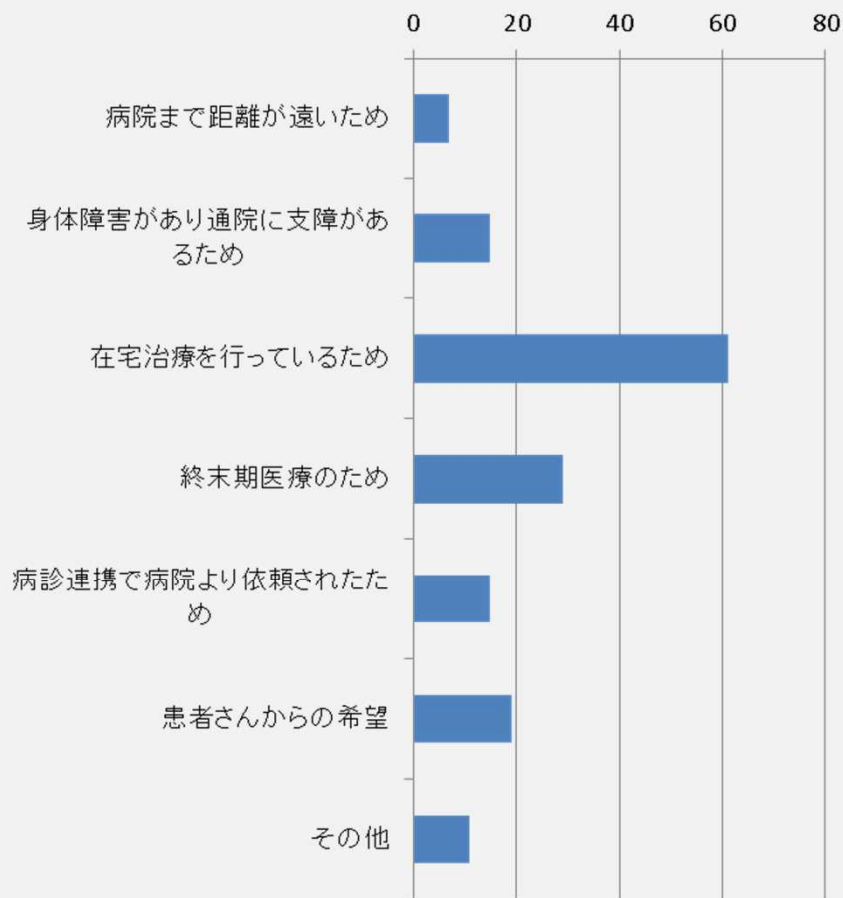


# 病院外（介護施設・住宅）輸血後の副作用発症時の対応策は決めているか否か





# 輸血を実施した患者さんの特別な理由



## • その他(自由記載11施設)

1. 当診療所のPTが高度貧血による急性心不全で呼吸不全をきたしたため(急性出血性胃潰瘍で)在宅で輸血を行った。
2. 透析患者の場合、消化器出血等で貧血が急に進んでいた。
3. 貧血、消化管出血
4. 腎不全(腎性貧血)で、輸血が必要となる。
5. 在宅血液透析(主に高齢・身体障害・要介護)、外来透析(高齢者、特養などの介護施設入居者、認知症患者)などの患者が多いため
6. 入院施設がある為
7. 当院の入院患者
8. 介護施設にて
9. 輸血を唯一の治療として生き抜く患者の思いを叶える現状で中断はできない。
10. 家族からの希望
11. 未回答

# まとめ

- 病院外で輸血を行った120施設からの回答を検討した。
- 在宅の輸血は91施設、介護施設の輸血は42施設（重複あり）。
- 病院形態は診療所74施設が多かった。
- 交差適合試験は120施設中112施設が必ず実施していた。
- 輸血後5分、15分の患者観察は120施設中91施設で「病院と同様に実施」との回答であった。
- 副作用発生時の対応策は120施設中58施設で「病院内と同様に実施」との回答であった。
- 病院外で輸血を実施した理由（複数回答）は、「在宅治療を行っている」が最も多い回答であった。
- 輸血中の患者観察・副作用発生時の対策は不十分であると考えられた。